

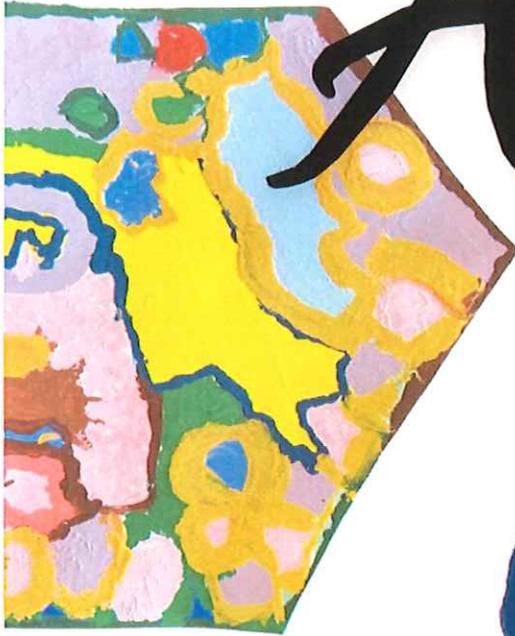


konomi kindergarten



ART

Festivals



木の实幼稚園
造形展

2026.2.13(金)13:00-16:00
2.14(土) 9:00-12:00
13:00-16:00



木の実のプロジェクト型保育について

ご承知の通り、本園ではイタリアのレッジオ・エミリア市の幼児教育理念に共鳴し、「プロジェクト・アプローチ（プロジェクト型保育）」という名前で実践されている教育を、現在3年保育以上の全てのクラスで行っております。

プロジェクト・アプローチ（プロジェクト型保育）は、1）何より子供が中心となって教師とどんなことも話し合い保育を進めていくこと。2）子供の興味、関心に基づいたトピックに基づいて、様々な遊びと活動を関連づけたカリキュラムを作る事がその大きな特徴で、遊びや活動の経験内容とそのつながりを重視するカリキュラムです。

活動や遊びを一方向的にさせるだけのカリキュラムではなく、子供たちが示す興味や疑問、問いかけを「トピック」（話題）にして、教師がそれらをまとめて「テーマ」を設け、そこから色々な活動が子どもとの話し合いの中で展開されていく、「探求型のカリキュラム」とも言えます。

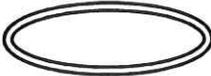
そのトピックやテーマ、活動が展開されていく流れをまとめたものが、この冊子の各クラスの内容紹介の末尾に付けられている「トピック・ウェブ」＝「話題の繋がり」～気づき、関心、話題の広がりや繋がりを網の目のように図示したものです。

今回の造形展でも、このプロジェクト型保育の中で子供と保育者が一緒に考え、様々なものを活用して色や形で遊び、表現する「活動・探求の過程」を年間通して展示しております。

～「トピック・ウェブ」の見方～

☆プロジェクト型保育では、子供たちが日々の遊びや生活の中で気づいたり、驚いたり、関心を持ったことが**保育のきっかけ**（破線で表示）になります。このきっかけがその後の保育が展開される大切なきっかけになります。やがて、その中から色々な話題や活動をまとめる「**テーマ**」が生まれてきます。

トピック・ウェブでは、**遊びのきっかけ＝興味・関心・気づき**  と図示され、

そこから生まれた**テーマ**が  と図示されています。

さらに、これらから広がった**トピック(話題)**が  と図示されます。

そして、この**話題から生まれた造形遊びや活動**が  と図示されています。

私たちの思い ～プロセス・子どもの経験を大切にしたい～

木の実幼稚園の造形展では、この1年の子供の気づきや興味や関心の変化、保育者や友達と話し合い、語り合ってきた様々な遊びの広がりの中で、造形活動がどのようにして生まれてきたかを見ていただく内容になっています。

その為、1、2学期の作品は、一つの活動のテーマごとに全員の作品が展示されているわけではありません。テーマごとに何点かの作品が選ばれて展示され、また作品として残っていない粘土や立体作品は写真やドキュメンテーションとして展示する場合があります。(当然作品の点数は不公平の無いように、担任が慎重に選択します。)

展示の何割かは3学期の作品になりますが、これも全ての子供が同じ画材、同じテーマで活動した作品がある場合だけではなく、クラスによってはクラスの中で子供たちがしてみたい活動やテーマ、画材、材料を選び、いろいろな表現や作品が、活動のグループごとに展示されていることもあります。また、クラス通信でお知らせしたものと異なるものが、子どもたちの中で広がり、この1月から2月になって新たに取り組んだ活動もあります。

私たちは何より個々の作品の出来不出来を大人目線で見るとは無く、その子、その子の思い〔夢、空想、興味、驚きや発見・・・〕と表現の面白さ、多様性、幼児らしい発想と工夫をその色や形、お話から感じて、共に喜んでいただきたいと思います。

そして自分の子供の作品だけ見て帰るというのでは無く、クラス全体がどのように動いてきたのか、どんな遊びや経験、生活をしてきたのか、各担任がどんな思いや願いをもって保育を進めてきたのかを、作品に付された子どものお話の記録、またドキュメンテーション(保育の記録)もよく読んで、保育のプロセス・過程を大切に見ていただきたいと思います。

子ども達が生み出したもの・作品を見る時は……

- 1、 自分の子どもの作品だけではなく、興味をもった作品や遊びは、**じっくりと見て、感じ、いろいろと考えてみてください。「早見・飛ばし見」では、何も心に届きません。**
- 2、 色づくりや面白い形を作って遊んだ作品は、「造形遊び」と言います。**何を表しているかよりも、その色や形の面白さをよく見て、感じて、楽しんでください。**
- 3、 それらしい形が描けているものだけが良いではありません。**それらしい形でなくても、その子、その子の工夫や思い、お話があります。それをしっかり受け止めましょう。**
- 4、 他の子どもと比較するのではなく、その子、その子が以前と比べてどう変化したのか、その育ちをよく見てあげてください。**「比較」よりも、「あるがまま」を受け止めましょう。**
- 5、 「上手・下手」だけで判断しない。**その子の工夫を理解・共感して、お話をよく聞いてあげましょう。そして一緒に面白がれれば、みんなが幸せです。**

こんな姿勢で、ゆっくり、じっくりと子供たちの表現の世界を楽しんでいただければ幸いです。

木の实幼稚園 臨時駐車場

園バス駐車場

ログハウス

体育倉庫

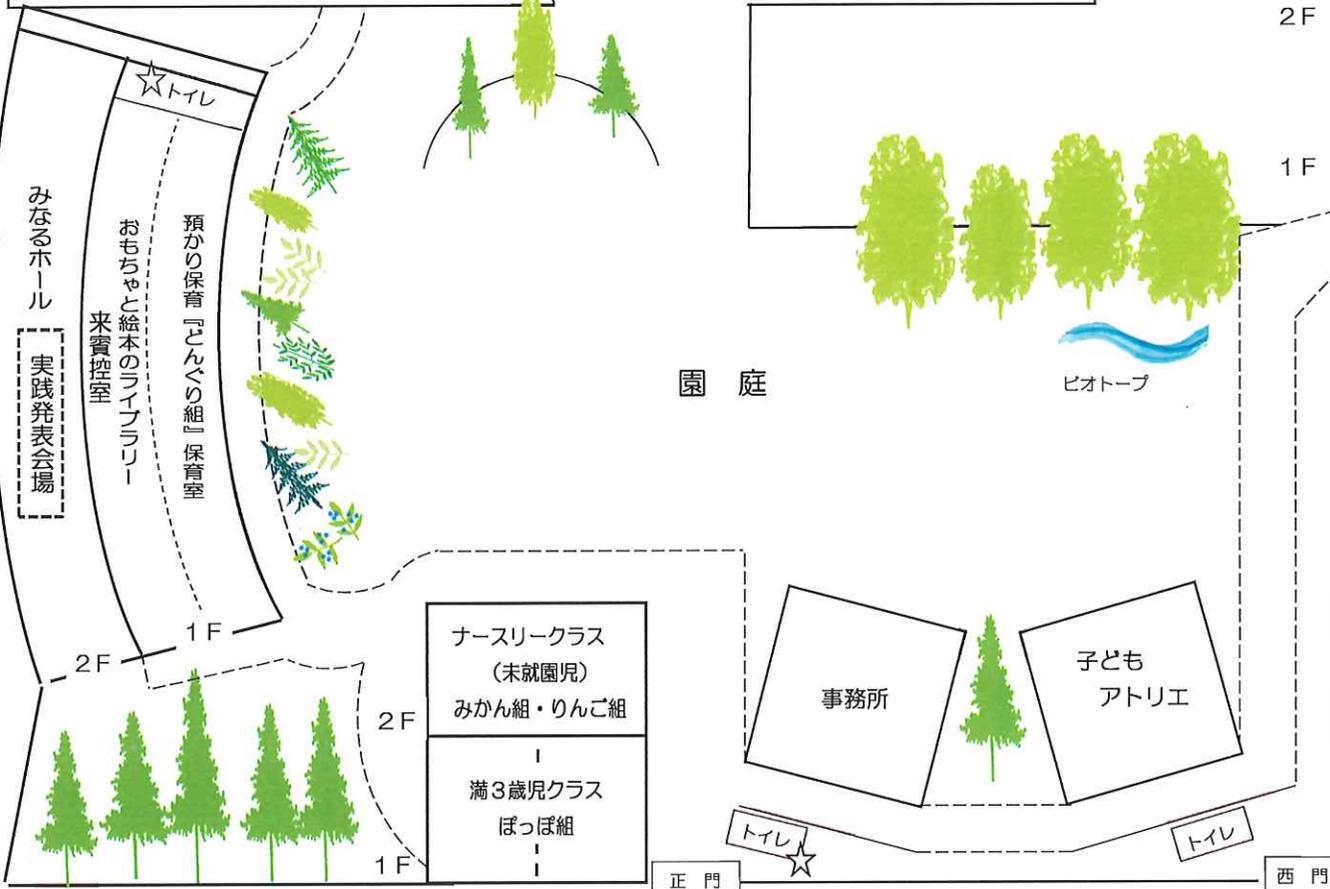
砂場

固定遊具

園庭

自転車置き場

木の实幼稚園 全体見取り図



			トイレ☆	トイレ
2F	花 (年中)	鳩 (年中)	ひよこ (年少)	パンダ (年少)
				うさぎ (年少)
1F	星 (年中)	月 (年中)	雪 (年中)	コアラ (年少)
				アヒル (年少)
			1F	2F
※ウッドデッキは土足厳禁です。				
2F	松 (年長)	梅 (年長)	トイレ	桜 (年長)
1F	給室食	竹 (年長)	トイレ	光 (年長)

☆印は大人のトイレです。



年少

うさぎ組のお部屋

担任：A・S



プロジェクト活動の展開と造形遊び

プロジェクト① もしもしゃくん

活動①/9月 全体活動

「いなくなったもしもしゃくんが何をしているか
想像して絵の具で描きました」

活動②/10月 全体活動

「もしもしゃくんのために暖かくなるものを
作りました」

活動③/12月 全体活動

「みんなのもしもしゃパワーを使って紙を
変身させました」

プロジェクト② 種

活動④/10月 全体活動

「カラーセロファンを使って、自分達だけの
素敵な色の葉っぱを作りました」

活動⑤/10月 全体活動

「いろいろな写真を組み合わせて野菜を
変身させました」

活動⑥/1月 全体活動

「紙の素材を使ってにんのすけくんの
お家を作りました」

活動⑧/1月 全体活動

「にんのすけくんが土の中で
何をしているのか想像して描きました」

活動⑩/1・2月 全体活動+コーナー活動

「指や道具を使って砂に描きました
～サンドアート～」

活動⑬/2月 全体活動

「根っこが伸びる様子を油粘土で
表現しました」

活動⑭/2月 全体活動

「にんのすけくんが天国に行くための
乗り物を作りました」

日々の生活の中で 生まれる 色・形の 造形遊び

4月/「初めての〇〇」

6月/「ローラーと絵の具で遊びました」

7月/「紙の素材で忍者の武器を作りました」

7月/「顔パーツで面白い顔を表現してみました」

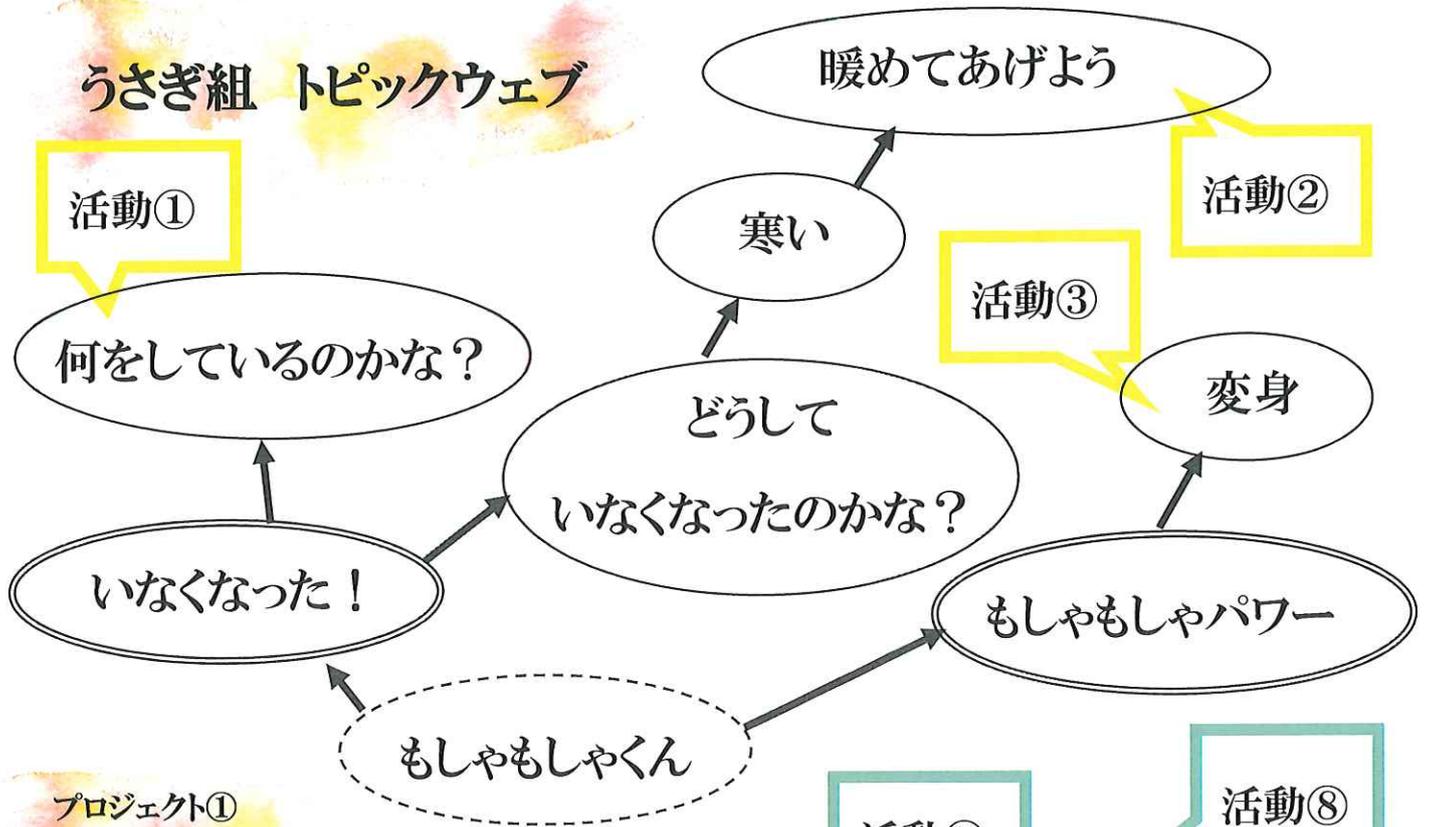
1月/「絵の具を混ぜて自分だけの色を作りました」

2月/「幼稚園の中で色集めをしてみました」

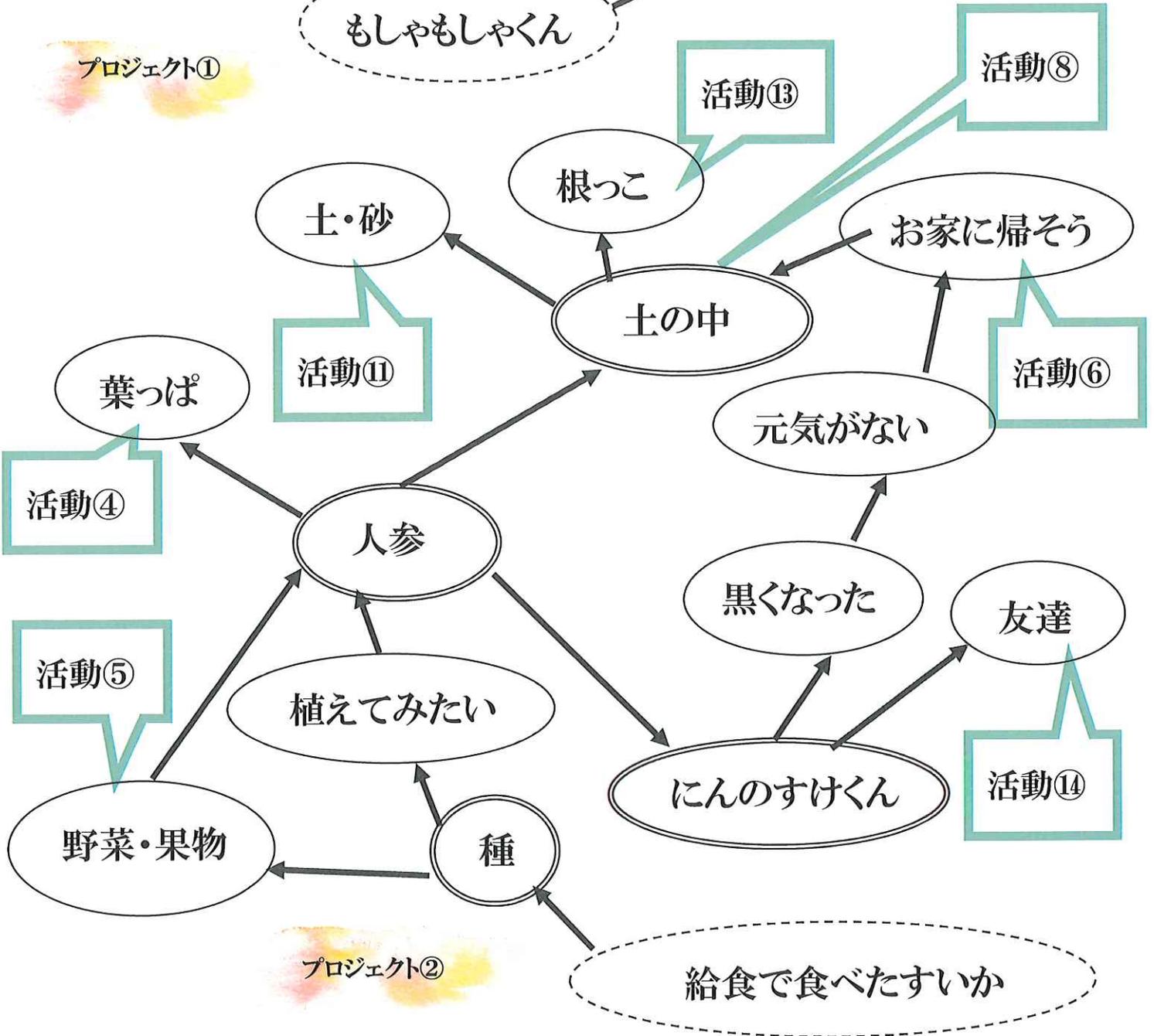
～コーナー活動～「モールを繋げて遊びました」

入園当初から新しいもの、初めてのことに興味関心が高かったうさぎ組さん。1学期から積極的に様々なことに挑戦し、できることを増やしていきました。それに伴い、何事にも自分の力でやってみたい！という意欲的な姿も多くなり、種のプロジェクトでは、約半年の期間を通じて、自分達で種を植え、水やりをして、収穫、調理の手伝いと、最後まで子ども達自身でやり遂げるほどの力が身につけていきました。また、自分ができることが増え、今度は誰かのために何かをしてあげたいという思いも芽生えてきた頃に訪れた「もしもしゃくん」との出会い。一緒に遊んだり、話をしたりしていくうちにすぐに大好きな存在となり、もしもしゃくんって…という想像の世界もたくさん膨らんで行きました。そして3学期には新たな「にんのすけくん」もやってきて、毎日外遊びに連れて行ってあげる姿や、降園時には「ばいばい～、また明日！」と本当の友達のように接する姿からは、思いやりや優しさの気持ちを感じられた瞬間でした。造形展では、そんなやり取りや背景も含めて1年間の子どもの素敵な姿をお伝えできればと思います♪ぜひお楽しみください！

うさぎ組 トピックウェブ



プロジェクト①



年少

ひよこ組のお部屋 担任：S・Y

プロジェクト活動の展開と 造形遊び

プロジェクト① もしやもしや君

活動①/9月 全体活動
「もしやもしやパワーで、
絵の具の形を変身させて遊びました」

活動②/10月 全体活動
「もしやもしやパワーで、
段ボールを変身させて遊びました」

活動③/10月 全体活動
「段ボールは水に濡れるとどうなるか、
試して遊びました」

活動④/10月 全体活動
「もしやもしや君が何をしているか、
ペンで描いてみました」

日々の生活の中で 生まれる 色・形の 造形遊び

4月/初めてのりを使って遊びました
5月/初めて筆で絵の具を塗って遊びました
10月/お団子屋さんをして遊びました

プロジェクト② カラス

活動⑤/5月 全体活動
「カラスに粘土と自然物でご飯を作りました」

活動⑥/6月 全体活動
「カラスが何をしているかペンで描きました」

活動⑦/7月 全体活動
「透明水彩でオリジナルの羽を作りました」

活動⑧/7月 全体活動
「オリジナルの羽を使って、
サーキット遊びをしました」

活動⑨/11月 全体活動
「飛行機・ヘリコプターに乗ってどこへ行きたいか、
ポスターカラーで描きました」

活動⑩/10月 コーナー活動
「いろいろな『ぐるぐる』で遊びました」

活動⑪/12月 全体活動
「いろいろなシールを貼って、
オリジナルの駒を作りました」

活動⑫/1月 全体活動
「いろいろな紙を組み合わせて、
光に照らして遊びました」

活動⑬/1月 全体活動
「『ふわふわ』の素材を組み合わせて、
ダンゴムシのお布団を作りました」

活動⑭/2月 全体活動
「だんごむしが何をしているか、
ポスターカラーで描きました」

活動⑮/1、2月 コーナー活動
「線路を作って遊びました」

活動⑯/2月 全体活動
「だんごむしの素敵なお家を、土粘土で作りました」

ひよこ組さんは、「こいのぼり」をきっかけにどんどん話題が広がっていきました。「一緒に飛ぶたい。」という思いから子ども達なりに「どうすれば飛ぶことができるのか？」を考え、出てきた答えが「カラスになったらいいんじゃない？」というものでした。いつも子ども達には驚かされてばかりで、その発想の豊かさや子どもなりに考える現実ではありえないお話の世界に、ドキドキ・ワクワクの気持ちで一緒に楽しむことができました。特に、「カラス」のテーマから広がった遊びは造形活動だけでなく、カラスを探す為に考えたアイデアをリミック遊びでやってみたり、自分で作った羽を使って体育遊びをしてみたり、いろいろな遊びができて良かったと思います。詳しくは、ドキュメンテーションとして展示させていただいておりますので、子ども達とも一緒に「あんなんしたん？」「こんなんしたん？」と振り返りながらご覧いただけたらと思います！ぜひ、子ども達が遊びの中で何を思い、何を感じているのか、作品やドキュメンテーションを通して知っていただけたらと思います。

年少

アヒル組のお部屋

担任：T・N

プロジェクト活動の展開と造形遊び

プロジェクト① トマトの苗

活動①/6月 全体活動

「花紙で丸を作りました。」

活動②/7月 全体活動

「粘土でピザを作りました。」

活動③/9月～1月 全体活動

「色んなお仕事でお金を集めました。」

活動④/12月 全体活動

「小麦粉と自然物でパンを作りました。」

活動⑤/12月 全体活動

「コンサートのチケットを描きました。」

活動⑥/12月 全体活動

「コンサートでつける冠を作りました。」

活動⑦/12月 全体活動

「トランスパレント紙でランタンを作りました。」

活動⑧/1月 全体活動

「ブラックライトの中でシャボン玉をしました。」

活動⑨/1月 全体活動

「明日のお空の天気を想像して絵の具で描きました。」

活動⑩/1月 全体活動

「版画をして遊びました。」

活動⑪/1月 全体活動

「土粘土でお空に届くくらい高く積んで遊びました。」

活動⑫/1・2月 コーナー活動

「色んな素材を丸めたくるくるコレクション」

プロジェクト②

もしやもしゃくん

活動⑬/10月 全体活動

「紙を丸めたりしてもしやもしゃくんのお友達を作りました。」

活動⑭/11月 全体活動

「もしやもしゃくんはどこで何をしているか想像して絵の具で描きました。」

活動⑮/1月 全体活動

「紙粘土でへんてこ〇〇を作りました。」

日々の生活の中で生まれる色・形の造形遊び

4月/「初めてのクレヨン」

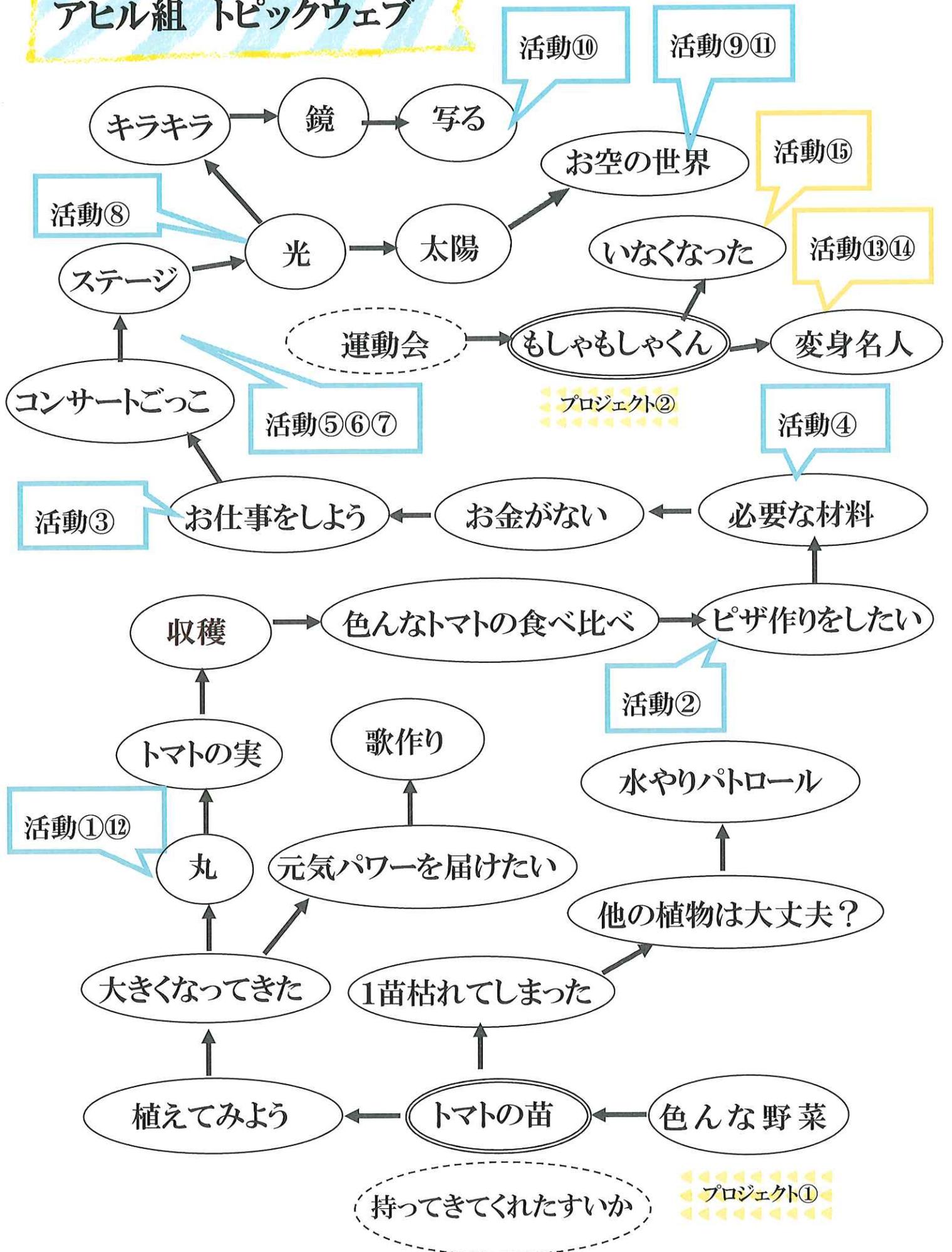
5月/「ハサミ遊び」

5月/「シール遊び」

6月/「絵の具でローラー遊び」

4月から始まった園生活の中で子ども達は色んな初めてに出会いました。5月にクラスの園児が持って来てくれた小玉スイカをきっかけにアヒル組のプロジェクトがスタートしました。まさか、スイカから始まり、お仕事をしたり、光の遊びにへと広がっていくなんて想像もしていませんでした。ここがプロジェクトの面白さでもあります。私自身、子ども達の興味や会話が膨らんでいく様子にワクワクさせてもらった1年でした。そして年少さんらしいファンタジーな世界にも引き込まれていき、子ども達の感性や発想の面白さに改めて気付かされました。作品もちろんですが、ドキュメンテーションを中心に遊びがどのように展開していったのかを展示させて頂いていますので、ご覧いただければと思います。プロジェクト以外に遊んだ遊びも展示していますので、子ども達の4月からの成長を感じてもらえると嬉しく思います。当日は、直接その時の子ども達の姿などもお伝えさせて頂ければと思います。

アヒル組 トピックウェブ



年少

パンダ組のお部屋

担任：H・Y

プロジェクト活動の展開と造形遊び

プロジェクト①

まる

活動①/6月 全体活動

「花紙を丸めて遊びました」

プロジェクト②

卵のたまちゃん

活動②/7月 全体活動

「はさみとのりで卵を作りました」

活動③/9月 全体活動

「卵のたまちゃんのお話を描きました」

活動④/9月 全体活動

「カプセルイでたまちゃんを作りました」

活動⑤/9月 全体活動

「フェルトでたまちゃんのベッドを作りました」

プロジェクト③

どんぐり

活動⑥/11月 全体活動

「紙を長く繋げて遊びました」

活動⑦/12月 全体活動

「どんぐりの楽器を作って遊びました」

活動⑧/12月 全体活動

「木を組み合わせて素敵なお家を作りました」

活動⑨/1月 全体活動

「どんぐりちゃんのお話を想像して描きました」

活動⑩/1月 コーナー活動

「木を変身させて遊びました」

活動⑪/1月 全体活動

「ローラーで描いたものに通し遊びをしました」

活動⑫/1月 全体活動

「木に遊びにくるお友達を想像して描きました」

活動⑬/1月 全体活動

「紙粘土で面白い虫を作りました」

活動⑭/2月 全体活動

「土粘土で色々な木を作りました」

日々の生活の中で生まれる色・形の造形遊び

4月/「はじめてのクレヨンで遊びました」

5月/「はじめての絵の具で遊びました」

7月/「粘土に素材を組み合わせて遊びました」

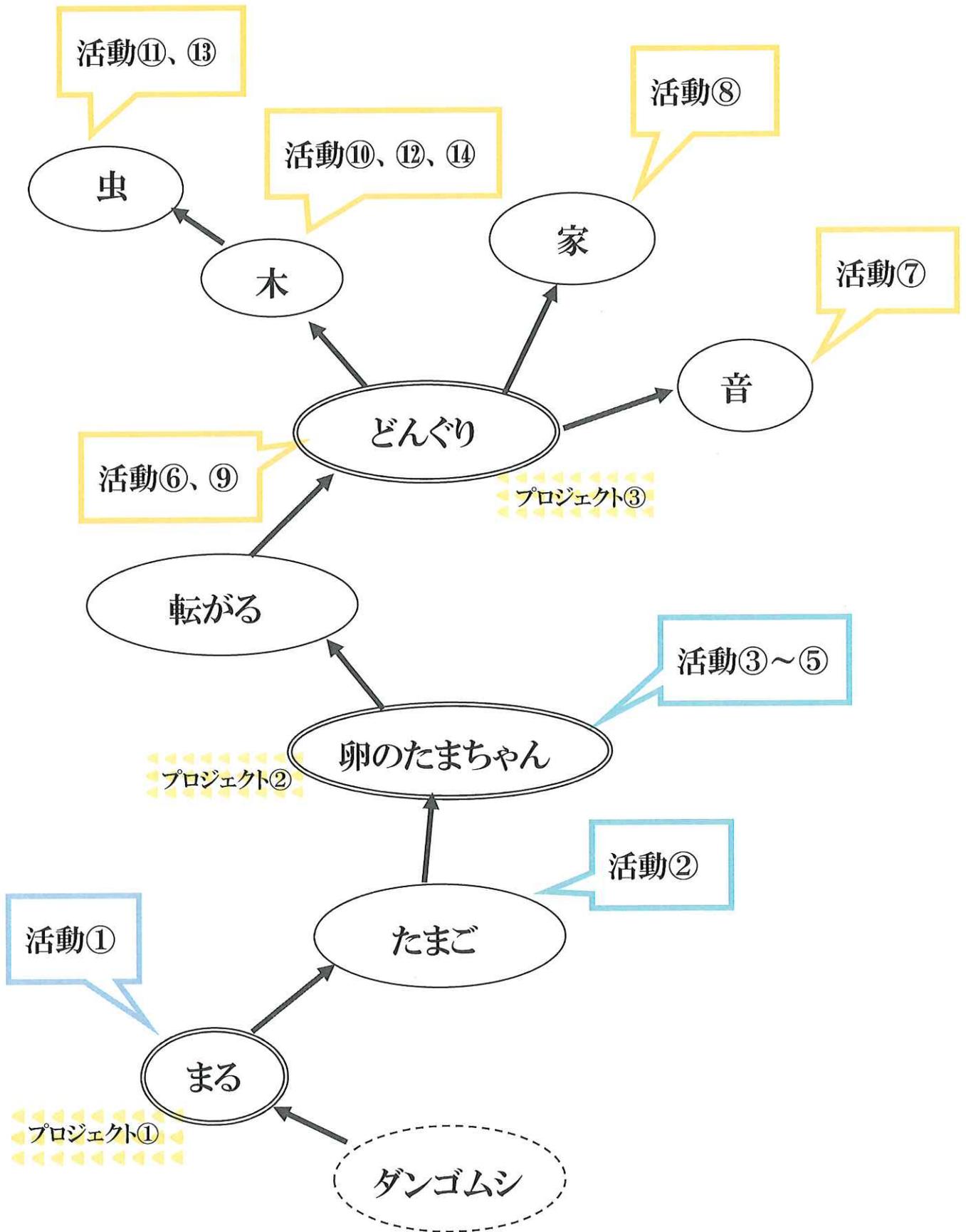
10月/「秋の果物ザクロに触れました」

10月/「紙をちぎって組み合わせて遊びました」

12月/「切り開きをして遊びました」

入園から11ヶ月、様々な活動での遊びを通して、子どもたちは「試す」ことを繰り返してきました。最初は同じ遊び方を繰り返し「できない。」と悩むこともありましたが、2学期になると、上手いかなないと、悩み、考え、違う方法を何度も試す姿が増えてきて、新しいことに気づいたり、必要なものを自分で考えたりしながら、工夫して遊ぶ様子が多く見られるようになりました。そんな子どもたちが何を感じ、楽しみ、日々を過ごしてきたのか、作品を通して成長を感じていただくと嬉しく思います。また、「やってみる!」「もっとやりたい!」気持ちを大切にしながら作ったもの、そして「もしかしたら…かも。」と想像力を膨らませて広がった絵や作品の数々を、ぜひお子様のお話を聞きながら、ごゆっくりご覧ください。

パンダ組 トピックウェブ





年少 コアラ組のお部屋 担任：A・U



プロジェクト活動の展開と造形遊び

プロジェクト① 風さん

- 活動①/5月 全体活動
「こいのぼりさんを描きました」
- 活動②/6月 全体活動
「ハサミとのりでモビールを作りました」
- 活動③/7月 全体活動
「いろいろな色のシャボン玉で遊びました」
- 活動④/9月 全体活動
「風さんを描きました」
- 活動⑤/9月 全体活動
「紙帯でくるくるを作りました」
- 活動⑥/9月 全体活動
「くるくるをたくさん描きました」
- 活動⑦/10月 全体活動
「見つけたくるくるでコラージュをしました」

プロジェクト② 電車

- 活動⑧/9月 全体活動
「電車を描きました」
- 活動⑨/12月 全体活動
「いろいろなもので並べっこをしました」
- 活動⑩/1月 全体活動
「お月様のことを想像して描きました」
- 活動⑪/1月～2月 全体活動・コーナー活動
「いろいろなものを触って、聴いて音探しをしました」
- 活動⑫/2月 全体活動
「お月様に届くハシゴを土粘土で作りました」

プロジェクト③ もしゃもしゃくん

- 活動⑬/11月 全体活動
「もしゃもしゃくんのごはんを作りました」
- 活動⑭/12月 全体活動
「もしゃもしゃくんの友達を作りました」
- 活動⑮/1月 全体活動
「もしゃもしゃくんを作りました」

日々の生活の中で 生まれる 色・形の造形遊び

- 5月/「いろいろな方法で花紙遊びをしました」
- 5月/「スタンプングをしました」
- 7月/「回し切りに挑戦！形を組み合わせて見立て遊びをしました」
- 1月～2月/「光と影で遊びました」

1学期から様々な道具や素材に触れて遊んできた子ども達。初めて触れるもの、初めて知ること、初めて感じたことに目を輝かせ「面白いな」「不思議だな」「もう1回したいな」と夢中になる姿がたくさん見られました。遊びの中で「どうして？」「分からないな。」「難しい」と感じることもあったでしょう。その「？」の気持ちから何度も試したり、保育者に聞いてみたりして、気づいたこと、教えてもらったことを遊びに活かそうとする姿も見られるようになりました。そんな姿に「やってみよう。」「こうしてみたらどうなるかな？」という好奇心や探求心、想像力が育っていったことを感じます。

子ども達は、見えない『風さん』と様々な方法で遊んだり、『もしゃもしゃくん』に愛着を持ち、優しい思いを遊びに活かしたり、大好きな電車から想像を広げて友達や保育者との会話や活動を楽しんできました。造形展では子ども達のワクワクした思いや「やってみよう」が形になった作品をドキュメンテーションと共に展示していますので、遊びの過程も楽しみながら子ども達と一緒に見ていただくと嬉しいです。

コアラ組 トピックウェブ

